

平成29年度 事業計画書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人親子の未来を支える会

1 事業実施の方針

前年度に構築した組織基盤や、情報提供やカウンセリングへの国内需要を元に、胎児診断・障がいに関する情報提供・情報収集事業、障がいに関するカウンセリング事業、胎児医療・障がい者医療に関するサポート事業を行う。特に他団体・医療機関との連携を強化する。

情報発信を通じて、うまれる命も医療の対象になるという概念を広める。胎児医療に関するリテラシーを向上させるのみならず、障がいや病気に関する社会的理解を深めることで、すべての人が安心して豊かな社会生活ができるような社会作りを目指す。

2 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定期時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) 胎児診断・障がいに関する情報提供・情報収集事業	障がい/胎児診断/胎児治療に関する講演、障がい者サポートに関する視察や講演など。 他団体の、周産期分野に関する情報監修	通年	社会福祉法人や学校法人等に加え、インターネットを通じて行う	20名	一般市民、障がい者、障がい者家族、医療者、胎児医療に関わる医師、看護師等 1万人/月
(2) 障がいに関するカウンセリング事業	オンラインピアサポートサービス「ゆりかご」のアプリ改善	通年	インターネット上	6名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師 等 50人/月
(3) 胎児医療・障がい者医療に関するサポート事業	病気や障がいに関わる家族サポートセンター立ち上げ 海外医療機関への患者派遣支援	通年	インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張する	9名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師 等 20人/月